

新年明けましておめでとうございます。

2019年に組織改編し、一般社団法人として再スタートした日本顕微鏡菌科学会は、新規入会が続き会員数は1,600人を超えるまでになりました。昨年4月の東京での学術大会、MICRO発行、8月に福岡での衛生士セミナー、9月には岐阜でサテライトセミナー、そして11月東京でのオータムセミナーなどを通じて学術活動、啓蒙活動を続けて参りました。

また、友好団体とは9月にロサンゼルスAMED（米国顕微鏡菌科学会）、12月に台北APM（アジアパシフィックマイクロミーティング）を通して交流を行ない、日本だけでなく、世界への情報発信も継続してきました。これも会員の皆さまの顕微鏡菌科治療に対する弛まぬ努力そして情熱による賜物によるものであり、会を代表してお喜び申し上げます。

2020年も4月24～26日に開催される福岡大会を大会長の和田尚久先生（九州大学歯学部教授）、実行委員長である原口晃先生（九州大学歯学部助教）を中心に準備を進めております。サテライトセミナー、シーズズセミナーなども例年通りに企画、開催して参りますので、本年も引き続き会員の皆さまのご参加、ご協力をお願い申し上げます。

2020年元旦

一般社団法人 日本顕微鏡菌科学会 会長 三橋 純